

新年のご挨拶

創立四十周年の 年を迎えて

学長／井尻 昭夫

新年おめでとうございます。

本年は創立四十周年を迎えます。古くから「四十にして惑わず」と言われているように、本年を節目として確固たる決意を持って新たなスタートに備えたく考えています。

実は、会社の寿命は三十年と言われていましたが、今では社会の成熟化はそのスピードを上げ、その寿命はさらに短くなってきています。他方、人間の寿命はより高齢化してまいりました。組織を動かすのは「人」であることを考えれば、組織の活力を引っ張る機関車も若返りが必要となってきたことは、いろいろなところで思い当たります。

我が大学におきましても全面改組を計画し、今日的に装いを新たにしたい社会の期待に応える体制の構築に踏み切ります。特に本学の置かれている地理的、社会的な条件を十分考慮に入れ、商学部、法学部、経済学部の三学部体制を計画しています。

大きな特色は、本学の社会的使命を認識し、「アウトプット」を意識したサービスに重点を置くことにあります。このために、我々もまた、社会に真に有用な人材の輩出に向けて自らを点検し、姿勢をただす勇気と決断が求められる年であるとも言えましょう。猿年にちなみ、「見る」、「聞く」、「検討する」積極的な姿勢を貫く一年としたものです。皆さんの積極的な取り組みを期待します。



学生達と中庭で

Contents

74

キャンパスニュース

- 「経験に裏付けられたメッセージ」—— 2
韓国 東国大学 李正美氏
夕学五十講 いよいよスタート
保護者懇談会 ほか
- 女子留学生弁論大会で最優秀賞獲得 —— 3
易玲さん(商一)
- 学会学術講演会 近藤純五郎氏
「情報」免許が産経学科で取得可に
国際観光学科生が表彰されました —— 4
元JBL選手によるバスケット
ボール教室開催 ほか

就職便り

- 本学で中四国オープンセミナー開催 —— 5
OB迎え座談会
これだけは気をつけて
～リクルートスーツ編～

学生のひろば

- 商大祭開催 —— 6
陸上競技部 津山駅伝で二連覇
ゴルフ部 中国地区で初の団体優勝 —— 7
「団体へ初めて出場して」
～東口竜一(産四)選手～ ほか

お知らせなど

- 社研 明石康氏講演会開催 —— 8
わたしがススメルこの一冊
厚生課から ほか

秋の国体へ三名出場

静岡県で十月二十五日(土)～三十日(木)開催された秋の国体「NEW!!かわふじ国体」へ、本学から三名の学生が岡山県代表として出場しました。

いずれの学生も全国大会への出場経験豊富な選手ばかりですが、「国体」という舞台は特別なものです。大きな緊張感を持ちながら、代表選手としてそれぞれの力を精一杯羽ばたかせました。今回、みごと国体初出場を果たした陸上部 東口選手(産四)が、



「家と図書館の往復の毎日でした」と語る小野さん
法学部 四年の小野史さん(香山)が合格率約九%の難関を突破して「社会保険労務士」に

九%の難関突破

社会保険労務士合格

小野隆史さん(法四)

合格しました。
「社会保険労務士を目指して勉強を始めたのは、三年生の十二月のことです。家と図書館を往復の毎日、一日十時間は勉強しました。」と語る小野さん。八月末の試験までの九カ月、家族やゼミの香山教授に支えられながら、懸命に勉強に取り組みました。
「将来、年金や労働問題のアドバイザーとして仕事をしたい。人と人との関わりあいの中で自分の資格を役立てていきたい」と抱負を語ってくれました。



学長室で(左から東口選手、菊川選手、香山選手)

これまでの道のりや、大会当日のこと、そして今後の抱負などを寄稿してくれました。(七面)併せてご一読ください。
柔道競技/団体戦 ベスト十六
菊川 顕(法三)・香山義篤(法四)
陸上競技部/走高跳 十四位
東口竜一(産四)

商大講演会

経験に裏付けられたメッセージ

韓国 東国大学 李正美氏



学生の中に入り語りかける李氏

十一月四日（火）八三二教室において、韓国の観光大学の観光学科講師 李正美氏を講師に招き

「韓国の観光の現状と将来」と題して講演会が行われました。（主催／本学後援会後援／本学国際観光学科）

韓国では現在国をあげて観光事業に取り組み、観光に携わる人材の育成に注力しています。本学商学部竹内教授が今年訪韓した折、その現状を李氏から直接お聞きし、是非とも本学学生にも聞いてもらいたいという今回の招聘となりました。李氏は観光ガイドの育成・指導などの実務を積まれた経歴をお持ちで、多様な側面から観光にアプローチしたお話を聞くことができました。

当日、コンピュータの不調というアクシデントに見舞われ、用意していた映像資料が使用できませんでしたが、「観光ガイドにはこうした予期できないことがつきもの」と、笑顔でご自身の体験に基づきさまざまな話題をお話いただきました。

その中で印象的だった言葉は「マインド」。仕事に対する能力、まじめさはもちろんのこと、お客様にたいする「心」の大切さを、学生たちに強く訴えられました。演台から下り、学生たちの中に入って講演される姿は、ご自身の言葉そのもののよう

でした。

また、語学力に関して「英語ともう一か国語、母国語と合わせて三か国語を身につけていけば申し分ないですね」と厳しい注文も。

経験に裏付けられたメッセージに、学生たちも熱心に聴き入り、講演が終了しても先生と語り合う姿が見られました。

Campus news 2

社研公開講演会

前日銀総裁

速水優氏を迎える

社会総合研究所では、十一月六日（土）、本学で速水優氏（前日本銀行総裁）をお迎

Campus news 3

社研

夕学五十講

いよいよスタート

熱気で会場埋まる

前号でお伝えした、衛星通信を利用した社会人教育特別講座「夕学五十講」が十月二十八日（火）からスタートしました。

はじめての方のためにこの講座の概要を簡単に紹介すると、「夕学五十講」とは（株）慶應学術事業会が開催する東京・丸の内シティーキャンパス（MCC）での定例講演会のことです。当事業会とパートナー契約を結んだ本学が衛星通信を利用して生中継する講座で、当研究所の公開講座とし



多様で豊富な内容に、聴講者は引き込まれた

えて公開講演会を開催、一般受講者、学生約三百名が熱心に聴講しました。

「明日の日本を考える」というテーマで速水氏の日本

銀行総裁として活躍された豊富な経験と高い見識から、専門性をもった話から身近な話題まで、多様で豊富な内容に、聴講者も引き込まれていったようで、一時間の講演はあっという間に終了しました。

先の見えにくい昨今であるからこそ明日の日本を、会社や組織、何よりも明日の自分自身のできることを考え直すことの重要性と必要性を改めて認識させられる講演でした。

て開講するものです。

十月から十二月の間に、すでに十一回の講演会が開かれ、いずれの回も熱心な学内外の聴講者で会場が埋まり、大きな反響を呼びました。聴講をご希望の方は、本学社会総合研究所まで（086-256-6656）



安藤忠雄氏の講座のようす（11月13日）

Campus news 4

平成十五年度 保護者懇談会
この気持ち、子供たちにも
好評のOBミニ講演
残念！出席者は減少傾向



OB講演の税理士川本氏（H9年 商卒）

保護者の方々と直接お話をする機会を得ることができました。

残念ながら、出席いただける保護者の方が年々減少傾向にあり、会の中でも「もっと多くの方に出席いただける会になるとよいですね」との言葉をいただきました。

そのような状況ですが、岡山会場で行われた本学OBによるミニ講演会は、今年も好評でした。本年の講師は税理士の川本洋氏（H9商学科卒 第二十九期生）。「卒業生の講演は勉強になり刺激になった。子供たちにもこの気持ちを伝えていきたい」（商学科四年 保護者 など、うれしい声が多数聞かれました。

本会では学生・教務・就職関係の説明のほか、希望者への個別面談、また本学と保護者、そして保護者同士の親睦も深めていただくため、懇親会も行っています。

保護者の皆様と本学との数少ない接点の一つとして、より充実した会を計画したいと思っております。来年度の保護者懇談会ではより多くの方々とお話をすることを期待しています。（総務企画課）

女子留学生日本語弁論大会 易玲さん(商) 最優秀賞獲得



「夢を追いかけてませんか？」
日本語で生き生きと語りかける
易さん

平成十五年十月十一日(土) 岡山県生涯学習センターで開催された「第七回女子留学生日本語弁論大会」で、商学科一年の易玲さんが最優秀賞を獲得しました。

易さんは子供のころ「先生になりたい」という夢を抱いていたそうです。しかし、日々の生活のあわただしさに紛れて、「いつの間にか、ほこりにいっぱい覆われた宝箱みたいに心の奥に閉じ込められて、忘れていた」と言います。

そんな彼女に再び夢を与えてくれたのが日本語でした。

一九九九年、知人の紹介で研修生として単身で来日。両親と離れた異国での生活、見るもの聞くものの初めてのことがばかりで、当初は「困難との戦い」だったそうです。しかし、その困難を乗り越え、日本でのさまざまな人との出会いが易さんの人生を徐々に豊かなものに変えていきます。

そして今年、本学の商学部商学科へ入学した易さんは、現在「先生になりたい」と再び思うようになり、卒業後は母国で日本語のすばらしさや、留学で得た専門知識を若者に伝えたいと考えています。

易さんは、その道のりを「一緒に夢を追

高校「情報」免許の取得が可能に 16年度から産経学科で(設置認可申請中)

社会の情報化の進展に伴い、学校教育においても情報教育が求められるようになり、高等学校においては、平成十五年より新教科として「情報」が創設され、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参加する態度」の三つの観点から情報教育が実施されることになりました。

商学部産経学科では、情報と経営を柱に教育体系を組み立て、社会のニーズに応える学生を多数輩出してきていましたが、高等学校に新教科「情報」が創設されたことに伴い、情報処理教育の体系を総合的に見直し、既設の免許教科「商業」に加え新たに「情報」の免許状の取得ができるよう、平成十五年九月二十九日に「高等学校教諭一種免許状(情報)」の課程認定の申請を文部科学大臣に対して行いました。平成十六年度からは産経学科で「情報」の免許取得が可能になる予定です。

ここ数年、少子化の影響もあり教員採用は極めて厳しい状況の中にありますが、「商業」免許に併せて「情報」の免許を取得することにより、採用に有利に働くことは間違いのないであろうと思われれます。

本学において「情報」の免許を取得するためには、次の所要資格が必要となります。

教育職員免許状所要資格					
免許教科	所要資格 免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数		
			教職に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
情報	高等学校教諭一種	学士の学位を有すること	22	29	必修 法学（日本国憲法2単位を含む）4単位 健康教育実践 1単位 健康教育論 2単位 コンピュータ処理Ⅰ 2単位 計 9単位 選択必修 中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、上級英語Ⅱ（会話）、特修英語Ⅰ（会話）の6科目（各1単位）のうちから2科目2単位

*「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のうち、最低修得単位数を超えて修得した科目の単位数は、「教科又は教職に関する科目」の単位数に充当します。

教科科目区分	「情報社会及び情報倫理」「コンピュータ及び情報処理」「情報システム」「情報通信ネットワーク」「マルチメディア表現及び技術」「情報と職業」
教職科目区分	「教職の意義に関する科目」「教育の基礎理論に関する科目」「教育課程及び指導法に関する科目」「生徒指導・教育相談及び進路指導に関する科目」「総合演習」「教育実習」

学会学術講演会 公的年金制度を めぐる問題

年金資金運用基金理事長
近藤純五郎氏

十月十四日(火) 七七二教室において本学会学術講演会「公的年金制度をめぐる問題」が、講師に年金資金運用基金理事長近藤純五郎氏を講師に迎えて開催されました。

「日本語で自分の意見や感想などを述べる事ができて、とてもよい経験でした。今後も頑張つて、より多くのものを学びたいと思います。」と語ってくれました。



近藤純五郎氏

熱気につつまれました。

公的年金制度は、国が責任を持つことで老後生活を確実に保障する重要な制度であるが、少子高齢化社会を迎え働く世代が減少し、若い世代を中心に制度への不信任から未加入者が増えつつあるとの現状説明の後、その年金制度を将来まで健全に維持・運営していくための見直しについて、検討事項を示しながら説明されました。

近年何かと問題にされる公的年金制度についての講演という事で、当日は学生、教職員を合わせほぼ満員となり、会場は聴講者の



満員の教室
関心の高さがうかがわれた

近藤氏は大学卒業後、昭和四十一年厚生省に入省、厚生労働事務次官など要職を歴任後、平成十四年十二月から現職にあります。出身が岡山市西大寺という浅からぬ縁で、今回の講演をお引き受けいただきました。最後には学生からの質問にも丁寧にお答えいただき、講演の一時三十分が非常に濃密な時間となりました。

国観学科生の活動が 「緑化・美化功労者」 として表彰されました



岡山市市長からの感謝状を手
田喜ぶ只佐(左)さんと仲田
(右)さん

十月三十日(木)に開催された「岡山市緑化推進大会」で、国際観光学科生の活動が緑化・美化功労者の「緑化・美化団体の部」として表彰されました。

昨年十二月に「観光サービス実習」の一環として行った、鳥城公園(岡山城周辺)の清掃奉仕活動が、緑あふれるまちづくり推進のため格段の協力をしたと認められたもので、岡山市長から感謝状をいただきました。清掃活動の参加者を代表して緑化推進大会に出席した只佐良子(国四)さんと、仲田有希子(国四)さんは、「岡山に来る観光客が増えればいいな」と思いながら、後楽園や岡山城周辺をきれいにしましたが、こうした小さな活動にも目を配ってくれて嬉しいですね。これからも自分達のできることから緑化や美化に協力したい」と話していました。

なお、昨年度の「観光サービス実習」は県内の観光地で観光ボランティア・ガイドの方に案内していただき、観光地の実状などを学習した後、清掃活動や意見交換などを行ったもので、岡山城後楽園周辺のほかに、津山、高梁、吉備路、倉敷の計五カ所を実施しました。今年は夏休み中に島根県松江市等を訪れ、いろいろな方に話を伺うなど、観光地の実状を学習しました。

(商学部助教授 捧 富雄)

大切なのは、基礎です 元JBL (Japan Basketball League) 選手等による バスケットボール教室開催

十月四日(土) 本学体育館で、元JBL選手等によるバスケットボール教室が開催されました。

今回、三宅・大野両氏の厚意により実現したもので、本学バスケットボール部員及び附属高校部員も含め、近隣高等学校のバスケットボール部員をご指導いただけることとなりました。日本を代表する一流選手に直接指導を仰ぐことができる機会ということで、七十名もの参加者がありました。

まず、大野さんの指導で基礎体力づくりトレーニングを行いました。はじめは参加者の戸惑いもあったのが、黙々とメニューをこなしていました。しかし、大野さんの気さくな人柄に触れ、また、三宅さんによる見本実技を見せていただくうちに、皆、目つきも変わり、真剣さを増していくのが、目に見えて分かりました。続いて、スクリーンプレイ等の基本的なプレイを実践しながら、説明いただきました。お二人の理論的分かりやすい説明は、大変参考になるものでした。その他、本学学生と参加した高校生との交流練習ゲームなども行われ、参加者もいつの間にか大きな声を出して練習に打ち込んでいました。

最後に三宅さんによる模範演技が行われ、ドリブルワークでの華麗なボールさばきなど、最高峰の技術に言葉もななく魅せられました。このようなドリブルは数知れない反復練習があつてこそ、才能だけではできないものではあります。皆さん、ぜひ参加者から三宅さんに、



熱心に指導する三宅氏(右)

・身長 一八四cm
・ポジション: ガード(チームの司令塔主に小柄の選手が担当)
・大野 伸二(おのの しんじ)氏
・岡山県玉野市出身
(玉野高校卒業)
・東京厚生年金スポーツセンターバスケットボール教室コーチ

▼講師

三宅 学(みやけ まなぶ)氏

- ・神奈川県出身
- ・日本体育大学卒業(学生時代MVP受賞)
- ・一九九一年: 日本リーグNKK所属
- ・一九九九年: 全日本総合バスケットボール選手権大会ベスト5に選出
- ・同年: JBL松下電器パナソニックスーパーカンガーズへ移籍
- ・二〇〇三年: 現役引退

ンクシュート(ゴールまでジャンプし、直接ゴールインさせる)ができますか? ことの質問に「私はジャンプ力もなく、身長も低く、到底ダンクシュートができないと予想されるが、反復練習により、余裕をもってできるようにになった。皆さんもできないとあきらめるのではなく、必ずできるようにになると信じて地道に反復練習してください」と、説明されました。

本教室終了後、雑談の中でJBLの練習では、毎日二〜三時間の練習のうち六割の時間を基礎練習にあてていること、一日練習を休むと取り返すのに三日以上要すること、通常練習以外でもできる地道な個人練習があることなどお聞きすることができました。華麗なプレイをするためにも、基礎練習の大切さを強調しておられました。また、お二人のバスケットボールに対する情熱、バスケットボールを通じて身に付いた礼儀正しさ、さわやかな人柄に触れ、改めてバスケットボールの魅力を再認識することができました。(総務企画課 薬師寺祐介)

二十年の節目を迎え 永年勤続表彰に四名



学長の紹介を受ける、左から岩橋教授、田中助教授、竹内さん

十二月十一日(木)教職員忘年会の席上、永年勤続表彰(二十年の勤続)が行われ四名が表彰を受けました。

の受賞者の方を井尻学長が紹介し、二十年を節目にそれぞれの仕事に邁進していただきたいと激励の言葉がおくられると、お一人ずつから個性溢れたあいさつがあり、その歳月が生きてきた実感されたのでした。

▼表彰者

岩橋 邦彦/商学部助教授・田中 勝次/法経学部助教授
長谷川博史/商学部助教授・竹内藤一郎/教務課課長補佐

你好 商大! 大連外国語学院から訪問団

本学の友好提携先であり、夏季語学研修の受け入れ校でもある中国の大連外国語学院漢学院から、蒲院長など二名が本学を訪問。語学研修の案内などを行いました。(十一月二十八日(金))

研修内容や現地の様子、また中国の文化などについて映像を交えながら約一時間お話しいただきました。異国への憧れが学生たちの胸中をよぎったのでしよう、お二人の話に真剣に耳を傾けていました。



「私たちと学びましょう!」
院長の蒲曉春先生

1～3年は全員参加です！

近年の大学生は目標意識が薄く

この催しでは、そういった大手企業人事担当者の生の声を学生たちが聞き、そこで働く自分の姿を思い浮かべさせたいうえで受験してもらおうとするねらいもあります。また、就職活動を始めている三年生ばかりか、低学年の学生たちにもぜひ参加していただきたいと思っています。

近年の採用活動では、一次試験にインターネットを使う大手企業も多く、人事担当者で面接するところまで当たり前ではない学生が多数います。特に地方の学生は会社訪問をするにしても不可能な場合が多く、会社のイメージだけで受験し不採用となるケースが見受けられます。

この催しは、これから就職活動をスタートする学生の皆さんに、地方ではなかなか聞くことのできない全国規模の有名企業人事担当者招いて、就職活動を実施するにあたっての心構え、業界（企業）情報、採用情報などをセミナー方式で学生に聞いてもらう催しです。

大学就職担当者の情報交換、研究組織である「全国私立大学就職指導研究会（全就研）」（二五二大学加盟）主催の「中国・四国地区オープンセミナー」が、平成十六年二月二十日（金）、本学にて開催されます。

大手二十三社参加の大規模就職セミナー

中国・四国地区オープンセミナー （全就研）本学で開催します

将来の目標を持たない学生がほとんどです。その彼らにこの催しに参加していただき、夢を持たせたいうえで就職活動をスタートさせたいと考えています。（就職課）

○名称／中国・四国地区オープンセミナー

○主催／全国私立大学就職指導研究会

○開催日／平成十六年二月二十日（金）

○時間／十時～十五時四十五分

○場所／岡山商科大学 七号館・八号館

○参加予定企業数／二十三社

○参加学生数／岡山県内加盟大学（本学、岡山理科大学、吉備国際大学、倉敷芸術大学、くらしき作陽大学、学生、その他県内外大学生、約一、五〇〇名

○問い合わせ先／実行委員事務局

岡山商科大学就職課

086-256-6655（直通）

○備考／参加学生はリクルートスーツ着用を厳守とします。

参加企業

朝日新聞社、伊藤園、NTTデータ、カバヤ

食品、ギャップ・ジャパン、三和シャッター

工業、積水ハウス、大正製薬、大日本印刷

大和ハウス工業、中国銀行、東京海上火災保

険、日興興業、日興証券、日本食研、日

本放送協会（NHK）、はるやま商事、富士

ロック、富士通、ベネッセコーポレーシ

ョン、松下電器産業、山崎製パン、ヤマト運

輸、両備システムズ

「働くこと」 考えませんか？

OBを迎え座談会



就職活動を控えた三年生四十名が参加。真剣な眼差しで話を聴いていた

が、その第一回目にお迎えした卒業生は

去年の十二月、本学卒業生を迎え、OB座談会が開かれました。全三回開催されました。

（株）仁科百貨店でスーパーバイザーとして働いていらっしゃる森克俊さん。流通業界への就職を希望する三年生約四十名が参加し、就職活動を控えた真剣な眼差しで森さんの話を聞いていました。

森さんは「自身の就職活動の体験談や、現在の仕事についてのお話、また学生時代のアルバイトのお話など、働くことについて様々な視点から話をされました。就職活動については、なかなか内定を取れなかったけれど、一度内定をもらって立て続けに内定を取れました」「何度も何度も自己PRを考え直しました」などと話され、現在のお仕事についても「土日がほとんど休めないことに最初は抵抗がありました」「真剣にやめようと思ったことが何度かありました」など、会社説明会ではめったに聞くことのできないお話もされました。

これだけは気をつけて！

ワンポイント 就職指南

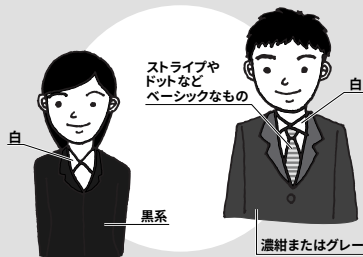
～リクルートスーツ編～



就職活動においてこれから始まる企業訪問、企業説明会に備えてリクルートスーツを準備しておきましょう。スーツの色は、男性では濃紺やグレーが一般的ですが、女性では黒っぽい色が好まれているようです。入学式等でスーツを購入されている方は、それを着用すればいいので、色などをチェックしておきましょう。ワイシャツ、ブラウスの色は、男性・女性ともにやはり白のほうが無難でしょう。また、ネクタイの柄は、ストライプやドットなどベーシックなものにした方がいいでしょう。

新たにスーツを購入される方は、洋服量販店にリクルートスーツコーナーがありますので、販売員の方にアドバイスをしてもらいましょう。

また、面接試験においても、第一印象は重要なポイントになっています。頭髪から爪先までの身だしなみに気を配り、さわやかにスーツを着こなし、面接担当者に好印象を与えられるよう心がけましょう。





出店も、国際色豊か。中華・韓国いろんな味が舌を楽しませます。写真はパングラディッシュからの留学生ラマン・ラキブ(経二)さんの店。すーごく濃いマンゴジュース、ナカナカのお味でした



メインステージでは連日の楽しい企画が目白押し。カメラを向けるとご覧のとおり、オチャメにハイポーズ!ありがとうございました



吸い込まれるような秋晴れの中、第38回商大祭、いよいよスタート。恒例の鏡割。「いっせいのーで!」呼吸を合わせて、お見事!「カンパニー」(もう顔の赤いヒト、いたけど気のせい...?)



部屋に入るなり「僕らのよりいいカメラですね!」部員の一人が話しかけてきた。写真を見させていただくが、どう見ても彼らの腕は僕より上だ。ということは...



華道部は学生ホールへ展示。聞くところによると本学華道部は全員男性とか...? 実に鮮やかで、繊細デス



外部からもたくさんのお客様に足をお運びいただきました



撮影は総務の新人Y君。彼曰く「いいでしょ〜 なんか撮りたかったんっすよね」とのコト



参加者が一つになって、サライを全員で熱唱。いつ見ても感動のグランドフィナーレ! そのままファイヤーストームへなだれ込んだ



プロコンの「Heart's Dales」と「SOL'd OUT」のみなさん。早々に売上の大人気でした



第38回商大祭を終えて 第38回大学祭実行本部 委員長/松澤元太

今年も10月31日~11月2日に商大祭が開催され、皆さんのご協力により無事に終了する事ができました。「一互一笑~みんなてキラリ☆~」のテーマのもとで、商大生と地域住民、教職員の方々が一丸となって素晴らしい大学祭をつくり上げ、これまでにない商大祭が出来たと思っています。

私達本部役員が3年間通じて得たものは、たくさんあると思っています。先輩から教えられる事もあれば後輩から教えられる事も、楽しい事もあれば辛い事もありました。他にも色々ありますがそう言った経験すべてが、今の自分達を成長させる事になる気がします。先代の委員長の代も色々としり錯誤をしていました。私の代でも長い目で見て、商大祭が変わるための一歩になったと思います。来年もまた、商大生の参加意識を上げる事や、地域住民ともっと密着するなどまだまだ改善できる要素が多々あるので、後輩達に引き継ぎをして来年より一層商大祭を盛り上げてもらいたいと思います。



五区間で区間賞を獲得した

陸上競技部顧問の岩橋教授(商学部)は「駅伝ブロックは十名足らずの少数部隊ですが、外部顧問の山部コーチを中心に日頃の練習の成果を発揮し、好タイムで二連覇を成し遂げることができました。今後、この結果に楽観せず、さらに手綱を引き締めて、全国大会を目指して頑張っていく所存です」と語り、全国への強い意欲を示しました。

陸上競技部が十一月十六日(日)行われた「第二十一回津山駅伝競走大会」の一般男子の部で昨年に引き続き優勝を果たし、みごと二連覇を達成しました。二十キロの秋の津山路を二時間〇八分四十八秒の好タイムで快走、七区間中五区間では区間賞を獲得するなど、圧倒的な強さを見せての勝利でした。

陸上競技部
見事!二連覇
津山駅伝競走大会

ゴルフ部

力かみあい、勝利つかむ

中国地区で初の団体優勝

ゴルフ部 部長

高原 拓也(商学科三年)



「より高いレベルを目指し、日々練習あるのみ!」

わたしたちゴルフ部は津高にある「みのある」ゴルフセンターで、岡山大学と岡山理科大学と一緒に活動しています。

内容は、ランニングに筋力トレーニング、そしてショット等の練習を行っています。当ゴルフセンターのご厚意で格安で練習場を提供していただいております。閉店後は練習場のボール拾いをしています。

試合は年間十一試合をこなしています。その中で全国に向けての予選が五試合あり、我が部の佐藤圭介(商四)、鍋島忠義(商三)は高い技術と精神力で見事に勝ち進み、今年行われた予選すべてで上位に入り、全国大会へコマを進めることができました。今年十月の「第五十一回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権」では、佐藤圭介が二十八位と上位に入り健闘しました。

また、春季の団体戦「一部対抗戦」では、二位と惜しくも優勝を逃してしまいました。が、「秋季一部校リーグ戦」では、選手そ

れその力がかみ合い優勝することができました。十数年続いた東亜大学の連続優勝記録を止め、ゴルフ部創部以来、初めての一部校団体優勝となり、トロフィーに「岡山商科大学」の名前を刻むことができました。この試合は佐藤・鍋島の力もあります。がそれだけではなく、全員のレベルが上がって、みんなの力がかみ合い、そしてこのメンバーだからこそのできたことだと思います。そして私たちは、みごと全国大会へ出場することになりました。全国では健闘の末、十六位という結果でしたが、私たちゴルフ部の歴史上大きな記録を刻んだのでした。来年は四年生の卒業で、主力選手が抜けてしまいます。戦力的にもかなりつらくなります。しかし、残りの部員全員で団結して練習に励み、そして試合に臨み、より高いレベルを目指し日々練習を行っています。

国体に初めて出場して

岡山県代表 走高跳出場

陸上競技部 東口竜一

(産業経営学科 四年)

今回が初めての国体出場だったので、緊張するのは当たり前だと思っていましたが、緊張感だけでなく責任感というプレッシャーものかかってきました。いつもの試合とは違い国体は県の代表として出場するので、自覚を持って臨まなければならないとは思っていましたが、こんなにもプレッシャーがかかるものだとは思いませんでした。全国の大会も何度が経験してはいますが、こんな風に感じたのは初めてで、この雰囲気は他の競技者や監督からもひしひしと伝わってきました。

自分自身 大学に入学してから毎年ベス

ト記録を更新し、中四国の大会では優勝できようにはなっていました。が、全国大会で入賞を狙えるようなレベルではなかったのが不安でした。しかし、今年の夏二m〇六cmだった記録を二m十四cm(中四国学生記録)と、八cm更新し、やっと全国の試合で勝負できるようになったのではないかと、自分に自身が持てるようになってきました。

そうして迎えた国体は、予選通過記録の二m一〇cmをクリアし決勝に進出、しかし興奮して迎えた決勝では、二m〇五はクリアしたもの二m一〇cmの一回目を失敗してしまい、調子がよかったにもかかわらずそれは立て直すことができず、二回目、三回目ともに失敗し、十四位という不本意な結果に終わってしまい、予選よりも決勝の記録が悪かったことにとても悔いが残っています。敗因として練習量の面もあるかもしれませんが、やはり他の選手に比べ精神面が弱いという点が一番だったのではないかと思います。

今回の国体は本当に反省点の多かった試合でしたが、とてもよい勉強になったと思います。そして、この経験を次に生かしていけるようにこれからも努力していきたいです。



跳躍に臨む東口選手
精神面の強化が今後の課題という

中四国で

三冠王者

囲碁・将棋部 張勇さん



三冠を達成した張さん

座戦中四国大会において優勝しました。

張さんは今年度、これまでに開催された中四国大会(第八十八回全日本囲碁選手権中四国学生囲碁春季大会(五月十七(土)十八(日)高知市)第四十回全日本学生十傑戦中国・四国予選大会(八月三十日(土)三十一(日)岡山市)も優勝しており、本大会を含めて三冠王者となりました。囲碁・将棋部創部以来の快挙!おめでとうございます。

ご協力
ありがとうございます

献血者 大幅増

恒例の学生会「愛の献血」が十月八日(水)学生会館前で行われました。献血に協力していただけた方の数が、年々減少傾向にあった近年ですが、今回は皆さんのご協力によりご覧のように多くの方に献血いただきました。ありがとうございます。次回も、どうぞよろしく!

献血結果(10月8日実施)

受付	101名
400mL	70名
200mL	19名

社会総合研究所公開講演会

講師▽元国連事務次長／明石 康氏

「変革期に求められる

リーダー像

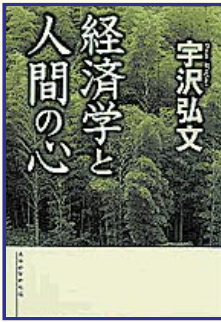


日時／平成十六年二月二十一日（土）
十三時～十四時三十分

会場／本学四号館二階 四二一教室

申し込み方法／電話・ファックス（086-256-6656）
Eメール（syaken@po.osu.ac.jp）で本学社
会総合研究所まで

わたしがススメルこの一冊



「経済学と人間の心」
宇沢弘文 著
東洋経済新報社（2003.6）



法経学部 教授
喜田栄次郎

人間の心を大切にする経済学の基本的な考え方を、環境問題などの視点から述べたエッセー集である。数
学的な分析方法を用いる現代経済学
の流れに対して、人間の立場から見
直すことの必要性が随所に示されて
いる。新しい経済の視点を知らうと
する人は、是非一読していただきたい。

祝 瑞宝小綬章



法経学部

吉川弘人教授

法経学部 吉川弘人
教授が、長年にわたる
研究・教育等の業績に
より平成十五年秋の
褒章で「瑞宝小綬章」
の栄に浴されました。
心からお喜び申し上げます。

学報の「愛称」募集します

長年「商大学報」の名で可愛がって
いただきましたが、本学創立四十周年を迎える
にあたり、より親しみやすい紙面を目指し
てこの「学報」に「愛称」を募集します。
読者のみなさんのご意見をお聞かせくだ
さい！（アドレス等はこのページ下欄外で
お待ちしています。）

あなたとあなたのまわりの人のために

あなたは**たばこ**を吸う時、何を考えますか？健康への影響？周囲への迷惑？
最近、**たばこ**を吸うのも肩身が狭くなってきましたね。大学でも、自動販売機を撤去しました。
これから、**たばこ**が吸える場所を減らしていく予定にしています。
「たばこは体に悪いことは分かっているけど…やめられないんだよね。」そんな人、多いですね。
これを機会にたばこの恐さ、禁煙の喜びを知って、もう一度たばこについて真剣に考えてみませんか？



「禁煙してよかった。」

- よかった理由1**
病気のリスクが下がる。
肺がん、食道がん、膀胱がん、心臓病の発
生リスクが下がる。
健康を取り戻せる。
よかった理由2
自分が気持ちいい。
目覚めがさわやか。
咳や痰が減る。
味覚・嗅覚がもどく。
食べ物がおいしく。
人に不快感を与えていないので安心。
息切れがなくなった。
よかった理由3
まわりの人が喜ぶ。
カーテンや衣服においがつかなくなる。
尊敬される。

「喫煙中です。少し不安…」

- 不安な理由1**
病気のリスクが上がる。
たばこは、毒物の缶詰。吸っていると肺が真っ
黒になる。肺口、喉、食道のがん発生率が上がる。
心臓病、脳梗塞、肺気腫などの原因となる。
不安な理由2
ニコチン依存症になる。
たばこを吸わないと、イライラする。
体の調子が悪い。
眠れない。
集中できない。
落ち着かない。
不安な理由3
まわりの人の健康を害する。
たばこの先から出る副流煙を吸うと、肺
がんや喘息の発生のリスクが高まる。
妊婦が吸うと、低体重児出産や早産の危
険が高まる。

ストレスはたばこがつくっていた！

喫煙者にしてみれば、何といてもたばこのメリットはストレス解消にあるのでしょうか。しかし、考えてみてください。「た
ばこをきらずとイライラする」このストレスをつくっているのは他でもない「**たばこ**」です。禁煙によって、ひとつストレス
を解消することができます。
一度や二度の失敗にくじけず、再度禁煙にチャレンジしてください。

マナーを守って喫煙を

どうしても禁煙できない人は、周囲の人に配慮して、喫煙場所で吸い、吸い殻はきちんと片付けましょう。

厚生課

訃報

本学と関係の深い三名の方がご逝去
されました。つっしんでご冥福をお
祈りいたします。



本学名誉教授
南條正明氏

（平成十五年九月二十一日）逝去



本学元事務局長
光枝完太郎氏

（平成十五年十月十二日）逝去



本学名誉教授
本島大道氏

（平成十五年十月十五日）逝去

編集後記

あけましておめでとございます。今
度も商大生の話題満載です。▼今回「就
職のワンポイント指南」「わたしがスス
メルこの一冊」「厚生課からお知らせ」
（すぐ右です）を掲載してみました。い
かがでしょうか？できれば連載してい
きたいと思えます。▼創立四十周年を迎え
学報も少しずつ変わっていきます。◎